

「会員短信 69」

「朝の来訪者」

小笠原満喜恵

ピーちゃん、スーちゃん、我が家の一日が始まる。時計に負けない正確さに驚きだ。寝坊をしないように起きて、餌を準備しないと「早く起きろ!」と騒ぎ出す。彼らのルールがあるのか、だいたい同じ時間にやって来る。まず、ピーちゃんとスーちゃん。彼らが美味しそうに食べ始めると仲間の二羽がすぐに飛んで来る。鳥なりの発信音でも出ているのかなあーと感じながら、時間を忘れて見ている。仲良しの四羽の雀だ。満腹になった後、安心して寛ぐ姿が実にかわいい。私の癒しのひと時である。

いつもの時間になっても来ない時は「どうしたのだろう」と心配になり、こちらも落ち着かない。

どこで知ったか、六羽の集団が来ることもあり(ギャング団と呼んでいる)、お米をあっという間に一粒残さず食べて去っていく。もちろん、この時、スーちゃん達は飛んで逃げる。雀の世界にもある力関係を目の当たりにする。

雀の朝は夜明けとともに始まり、日の出の時間と関連があるようだ。研究対象に夢中になる生物学者の気持ちがちょっとだけわかる気がする朝のひと時である。雀たちの姿に癒され優しい気持ちで俳句が閃く。生き物の力は偉大だ。今度生まれ変わったら、雀の研究に携わるのもよいかかもしれない。

夢は大きく!!

ベランダの子雀キョロキョロこんにちは

子雀のチュンのあいさつ初日の出

子雀もいまや大人よ秋の風